

企業のクラウド利用の推進に関するガイドライン（2018～2020年）

アジア調査部中国室研究員
劉家敏
03-3591-1384
jjamin.liu@mizuho-ri.co.jp

【要点】

- 中国工業情報化部は、2018年8月10日に「企業のクラウド利用の推進に関するガイドライン（2018～2020年）」（中国語名「推动企业上云实施指南（2018-2020年）」、以下「ガイドライン」）を発表した。
- 中国では、2017年発表の「クラウドコンピューティングの発展に関する三年計画（2017～2019年）」、「『インターネット+先進製造業』の深化と工業インターネットの発展に関する指導意見」等により、情報産業の新業態育成、インターネットと製造業の融合促進が進められている。もともと、クラウドを利用する企業は現時点で全体の約4割に止まっている。「クラウド利用の企業数を2020年までに100万社増やす」等を目指と設定したのが、この「ガイドライン」である。
- 「ガイドライン」では、4つの対策が打ち出された。具体的には、①推進方法の科学的な制定（大手企業による自社専用のプライベートクラウドの開発と中小企業等によるパブリッククラウドプラットフォームの活用等）、②需要に基づくクラウドサービスの合理的な選択（計算・ストレージ・ネットワーク・セキュリティ等を含むインフラ関連クラウドサービス、データベース・ビッグデータの分析・ミドルウェアプラットフォーム・人工知能プラットフォーム等を含むプラットフォーム関連サービスの選択等）、③企業のクラウド利用の安定かつ秩序ある推進（需給分析・フィージビリティスタディ等に基づくクラウドプラットフォーム企業、クラウド利用の方案、テスト・推進方法等の選択、業務計画に基づく情報システムの業務種類・利用者・利用特徴・性能指標・データベース利用状況・システム間関連性等に対する全面的な整理等）、④サポートサービス能力の向上（クラウドプラットフォーム企業の技術水準の引き上げとサービス能力の強化、クラウドプラットフォーム企業によるクラウド利用体験センターの設立奨励等）、である。
- 「ガイドライン」では、政府部門・クラウドプラットフォーム企業・クラウド利用企業の協力推進メカニズムの構築、公共サービスプラットフォームの構築、企業のクラウド利用による革新・起業の奨励等、政策的な保障を強化する取り組みも盛り込まれている。

【構成(概要)】

「企業のクラウド利用の推進に関するガイドライン(2018～2020年)」

(工信部信軟[2018]135号)

成立日：2018年7月23日、発表日：2018年8月10日

1. 全体方針：クラウドコンピューティングは、情報技術の発展とサービス方式の革新を反映したもので、情報化の重大な変革と必然的な趨勢として現れる。企業のクラウド利用は、発展・問題解決能力の強化に重点を置き、費用対効果・実用性・汎用性・安全性・コンプライアンスに対する調査研究や分析、コスト・収益・リスク等に対する十分な評価、業務特徴とクラウドコンピューティングの強みが合致した利用方法の模索、クラウドを利用する企業・クラウドプラットフォーム企業・クラウドを応用する企業・インフラ提供企業・業界団体等の協力強化を促進するとの全体方針により、2020年までにクラウド利用の企業数を全国で100万社増やす等の目標を達成する。
2. 推進方法の科学的な制定：大手企業は自社専用のプライベートクラウドを開発すること、中小企業等はパブリッククラウドプラットフォームを活用することで企業のクラウド利用を推進する。
3. 需要に基づくクラウドサービスの合理的な選択：インフラ関連クラウドサービス（計算・ストレージ・ネットワーク・セキュリティ等）、プラットフォーム関連サービス（データベース・ビッグデータの分析・ミドルウェアプラットフォーム・モノのインターネットに係るプラットフォーム・ソフトウェア開発プラットフォーム・人工知能プラットフォーム等）、業務応用サービス（事務の共同処理・経営や運営の管理・研究開発や設計・生産やコントロール・スマート応用等）。
4. 企業のクラウド利用の安定かつ秩序ある推進：企業のクラウド利用は、需給分析・フィージビリティスタディ等に基づくクラウドプラットフォーム企業、クラウド利用の方案、テスト・推進方法等を選択することで進めていく。クラウドを利用する企業は、第三機関やクラウドプラットフォーム企業のサポートにより、業務計画に基づく情報システムの業務種類・利用者・利用特徴・性能指標・データベース利用状況・システム間関連性等を全面的に整理する。システム上のクラウド利用の可能性・優先順位等に関する分析やフィージビリティスタディ等も欠かせない。
5. サポートサービス能力の向上：クラウドプラットフォーム企業の技術水準の引き上げとサービス能力の強化、クラウドプラットフォーム企業によるクラウド利用体験センターの設立奨励等。
6. 政策保障の強化：政府部門・クラウドプラットフォーム企業・クラウド利用企業の協力推進メカニズムの構築、公共サービスプラットフォームの構築、クラウド利用による革新・起業の奨励等。

* 中国語全文は、<http://www.miit.gov.cn/n1146295/n1652858/n1652930/n3757022/c6309203/content.html> から入手可能（2018年9月14日アクセス）

以 上

●当レポートは情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、ご自身の判断にてなされますようお願い申し上げます。また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。なお、当社は本情報を無償でのみ提供しております。当社からの無償の情報提供をお望みにならない場合には、配信停止を希望する旨をお知らせ願います。